

進路だより

第2号

令和5年7月18日発行

県立美浦特別支援学校 進路指導部

高等部では、6月12日（月）から2週間、第Ⅰ期校内・現場実習を実施しました。生徒たちは、卒業後の自立と社会参加に向けて頑張っていました。今号では、高等部の進路に向けた学習の流れと高等部Ⅰ年生の校内実習について紹介します。

特集 高等部の進路学習

Ⅰ年生

自分の適性や課題を知る

- 事業所見学（福祉・企業）
- 校内実習（年2回）
- みほとくマルシェ（作業製品の販売）
- 短期企業実習（企業就労希望者の体験実習）

2年生

卒業後の生活に必要な力を
知り身に付ける

力試し

□現場実習

5～10日間の実習を年2回実施
実習場所：企業、福祉事業所など

3年生

進路選択・決定

□現場実習

5～10日間の実習を年2～3回実施
・企業（障害者雇用を想定）
・福祉事業所（福祉的就労、生活介護など）

高等部Ⅰ年生 第Ⅰ期校内実習の様子



校内実習では、社会生活に必要な能力や態度（あいさつ、返事、言葉遣い、報告・相談、集中力、周りの人と協力して生活や仕事をする力など）を身に付けます。

Ⅰ年生は、初めての实習で緊張しながらも、自分の決めた目標に向かって一生懸命頑張っていました。また、様々な仕事を体験する中で、自分がどのような作業が得意なのか、どのような作業が好きなのかを知る機会にもなりました。

自立活動コースの校内実習

【マグネットづくり】



生活リズムを維持しながら、積極的に人にかかわったり活動に参加したりすることができました。

生活コースの校内実習

【シュレッダー作業】



自分の力で動かしてシュレッダー作業を頑張りました。

総合コースの校内実習

【ねじ組み立て、クリップ仕分け作業】



決められた時間、集中して作業に取り組んだりあいさつや報告したりすることを頑張りました。

職業コースの校内実習

【ビルクリーニング】



正しい道具の使い方や丁寧に正確な作業を意識して頑張りました。

同窓会より

6月24日（土）本校体育館において同窓会総会が行われました。

近年は新型コロナ感染拡大の影響で実施することができませんでしたが、今回は3年ぶりに開催することができました。会員の皆さんや保護者の皆さんを含め約150名の参加者がありました。

総会では、新会長の大湖亜佐実さん（平成28年度卒業）をはじめ、新役員の皆さんが承認されました。また、来年1月には、二十歳を祝う会を行うなどの事業計画の報告がありました。その後はレクリエーションをしたり、近況を報告しあったりしながら懐かしい話に盛り上がり、楽しいひと時となりました。

